

各位

会社名 株式会社 き も と
(略称 KIMOTO)
(URL <https://www.kimoto.co.jp/>)
代表者名 代表取締役社長 小林 正一
(コード番号 7908 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部長 新上 奈美江
(TEL 050-3154-9000)

連結業績予想と実績値との差異及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2023年4月24日に公表した連結業績予想と実績値に差異が生じましたのでお知らせします。また、個別業績と前期実績値に差異が生じましたので合わせてお知らせします。

記

1. 業績予想との差異について

2024年3月期通期連結業績予想との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,300	100	150	100	2.17
実績（B）	9,910	214	408	335	7.26
増減額（B－A）	△1,389	114	258	235	
増減率（％）	△12.3	114.8	172.6	235.0	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	9,623	△626	△512	△567	△12.18

2. 前期実績値との差異について

2024年3月期通期個別業績の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績（A）	8,914	△388	△969	△20.83
実績（B）	9,225	624	539	11.70
増減額（B－A）	311	1,013	1,509	
増減率（％）	3.5	-	-	

3. 差異の理由

2024年3月期は、世界的な景気停滞、そして資材価格等の高騰による消費低迷の影響から受注量が減少していた状況から、主要取引先の事業活動が回復傾向となりました。これを受けて主にIoT関連製品向け高付加価値製品の受注が増加したこと及び資材価格やエネルギーコスト上昇分を補うための販売価格への反映、低収益品の統合や生産業務効率化による製造原価低減に努めたことにより連結、個別ともに利益が大幅に改善いたしました。売上面は、スマートフォンやタッチパネルインターフェイス関連製品において新規案件の受注時期が後ろ倒ししたこと、デジタルツイン事業において顧客の内製化等の理由により見込みよりも大幅に受注量が減少したことにより、前回発表予想と差異が生じました。

以上